

全ては力のために (僕のヒーローアカデミア ? 幽遊白書)

ローキエ

## 【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

## 【あらすじ】

それは純粹ゆえに強さをひたすら求めた  
ただ強く、誰よりも強くなりたいと  
それが全てを犠牲にする事になっても  
ただ強く、なりたい

「俺は筋肉操作しか取り柄の無い敵（ヴィラン）でねえ。 …まあ、よろしく頼みますよ。」

マスクユラーの代わりに戸愚呂弟を登場させてみました。

## 目次

全ては力のために (僕のヒーローアカデミア?) 幽遊白書

1

全ては力のために (僕のヒーローアカデミア?)  
幽遊白書)

それは純粹ゆえに、強さをひたすら求めた。

「その少年、少し…聞きたいことがあるんだがね」

「ひいつ、あつ… あつ…」

ただ強く、誰よりも強くなりたいと。

「爆豪勝己、と言う男の子を知らないかな？」

「お、おまえ…」

それが、全てを犠牲にする事になっても。

「これも、仕事なんでねえ」

「パパ…、ママツ…」

たった1つを極めるために

「だいつ…、大丈夫だよ洗太くん…」

必ず 救<sup>たす</sup>けるから

強く、生<sup>な</sup>る。

●  
戸愚呂<sup>ウイラン</sup>が居るところに、緑谷出久<sup>ヒーローノタマゴ</sup>も居る。

「ふむ…、」

こうしてヒーローの卵とやり逢うのは、

初めてだから少し緊張するねえ…」

「—…」

「お手並み拝見と行こうか」

互いに求めるのモノは、似てるようで、違う。

「よっ(こ)いしよ…」『20%』

「来……がつ!!」

一人は憧れた、一人は渴望した。

S M A S H !

「っ…!」

「軽いねえ…」

一人は逃げようとした、一人は進もうとした

「ウオーターホース…パパ…ママ…も」

そんな風にいたぶつて…殺したのか…!」

「お互いにやるべき事をやった、ただそれだけさ」

一人は弱さを捨てた、一人は弱さを持ち続けた

「何か一つを成し遂げようとするには、

他の何かを犠牲にしなければならぬ!!

それが出来ぬ半端者だからこそ、君の両親は死んだんだ!」

「親でありながら、ヒーローの活動をする…、

その時点で君の両親に非があると思うがねえ」

故に、二人が出会い、敵対するのは当然なのだろう。

「ふざっ、けるなっ…悪いの!お前だろ!!」

「それで?その体と腕でどうするんだね、ヒーロー君?」

「出来る出来ないじゃないんだ…!」

「ヒーローは!!!」

ワン・フォー・オール

「命を賭して」

100 % !!!

「キレイ事」実践する お仕事だ!」

スマッシュユ!!!

「これはっ?!」

「あああ!!!」

綺麗ごとの体現者チカラをもとめると暴力の追求者が対決する。

● 両腕が使えない代わり、口で、歯で少年の服を噛む。

「ごえんっ…、ふっおあひえ…!」

その表情からは、必ず救けると言う意思を感じさせる 緑谷出久。  
崖からの転落を、服を噛まれて救けられている 出水洗汰。

かたや心が、かたや体が、二人そろって心身に限界が来ている。

「ハア… ハア…施設に行こう…こっからは近

「いいねえ」

——つつつつつ!？」

で? だから何だ?、と

「ウソだ… ウソだろ…」

オールマイトの…

「100%だぞ…!？」

力だぞ!!？」

「さっきのは良かった… 威力だけならば、ね」

<sup>サイラン</sup>敵は待たない

「くつ、来るな!」

「いやだね、行くよ」

ダメだ…!どうしよう考えろ 考える時間…!!

「な 何がしたいんだよ!! <sup>サイラン</sup>敵連合は何が…!!」

「愚問だな、俺たち敵が<sup>サイラン</sup>やりたい事はただ一つ、

…破壊だ!!」

「感情、理念、価値観、個性等とは違う

純粋で限らない闘争<sup>バトル</sup>本能を持つ生き物!」

「緑谷、お前の勇気に敬意を評し、俺も本気で戦ってやろう」

60%

「冨太くん、つかまって!!」「え…」

ドゴツ——ドドドドドドドドドド

殴り、崩れていく崖。その様を見て、青ざめる緑谷

さつきまでと比べ物にならない…!

速さも力も…!!

本当に——

一撃でも当たったら

本当に殺される

圧倒的とも言える暴力<sup>アカイ</sup>に折れかける緑谷<sup>ヒーローノタマゴ</sup>

「ハアアツ!!」

「ぶわ!!」

「ん?おつと」

ダメだ…!!

「ぐっ…!!」

『施設まで行けば相澤先生がいるハズ!』

ダメだ!!

『先生に“消して”もらえば…』

ビビるな!!

ブツブツ「ここから施設までの距離を

追いつかれずに行けるか?」ブツブツ

ムリだ

ブツブツ「ただでさえ合宿の疲労がたまってる

そんな状況で背を見せて獣道を…」ブツブツ

考えるな!

しかし、それでも彼は折れない

今!ここで!

戦って!!勝つしか!!!

折れるわけにはいかない

おまえに道は無いんだ 緑谷出久!

救けるんだろ!!

お前の原点を 思い出せ!!

「下がってて洗太くん

離れすぎると的になる

…:うん…:7歩…:くらい…:で

ぶつかったら全力で施設へ走るんだ」

「ぶつかったらって… おまえ まさか!

ムリだ 逃げよう おまえの攻撃効かなかったじゃん!!

それに… 両腕 折れて、

「大丈夫」

ワン・フォー・オール100%!デトロイトスマッシュ!!

「こんなものかつ！がっかりさせるなっ!!」  
だが、力の差があまりにもあり過ぎる

「……じょうぶ……大丈夫!!」

彼は折れていく

「こつから後ろには絶対行かせない!!　つから……走れ!!」

洗太は動けない

「走れ!!」

「いい目だ、

そんな目をして挑んできた奴らの屍を乗り越えてオレは勝つてきた

そんな時は相手がどんなに弱くても全力を出したよ

こんな風になっ!」

「ぐづ……つる　せ　ええええええ」

「何で……」

「意外と頑張るじゃないか!」

緑谷が折れていく

(ヒーローとは常にピンチをぶち壊していくもの!!)

ごめんっ!!　母さん!!

ごめんっ!!　オールマイト!!

(敵よ　こんな言葉を知っているか!!?)

オールマイト!!!

(一発一発が100%以上の……!!)

「終わりだ!小僧っ!!」

緑谷が折れ……

SPLASH

「やっ　やめろオオオ!!」

悪意に水を差した洗太

『洗太くん』

間一髪で命を繋がれたヒーローの卵

「弱者が無粋なマネをするな、

……丁度いい、代償としてその命を貰おうか



ヒーローが負け、幼い命が奪われた！  
まさに理想の悲劇じゃないか！  
ハツハツハツハツ!!!」

…ない

「!？」

「ごろっ させてえええ

緑谷は折れないこわ

「ほう、まだ上がるかあ！」

ワン・フォー・オール 1000000%

たまるかああああ!!!」

緑谷はヒーローになる

デラウエア・デトロイトスマッシュ!!!

「…やる、ねえ」



(冨太)

(あんたのパパとママ…ウォーターホースはね)

(確かにあんたを遺して逝ってしまった でもね)

(そのおかげで守られた命が確かにあるんだ)

「…何も知らないくせに…！」

(あんたもいつかきつと出会う時がくる そしたらわかる)

「何で!! 何も…!知らないくせに」

(命を賭して あんたを救う)

(あんたにとつての——…)

「何でっ… そこまで…！」

僕の——…

僕のヒーロー